



データ分析集の概要

参 考 資 料 1
国立大学教育研究評価委員会（第67回）

国立大学教育研究評価用に登録されているデータを基に46指標から構成し、以下2種類の用途に合わせて出力したもの

- ① 法人別に法人全体・課程別等の経年変化が把握できるもの
- ② 学系別に各法人の学部・研究科等の状況が把握できるもの

- ・ データ収集は毎年度法人に依頼
- ・ 法人への提供は評価実施前年度のみ
- ・ 法人は自己評価の根拠資料の一つとすることができる



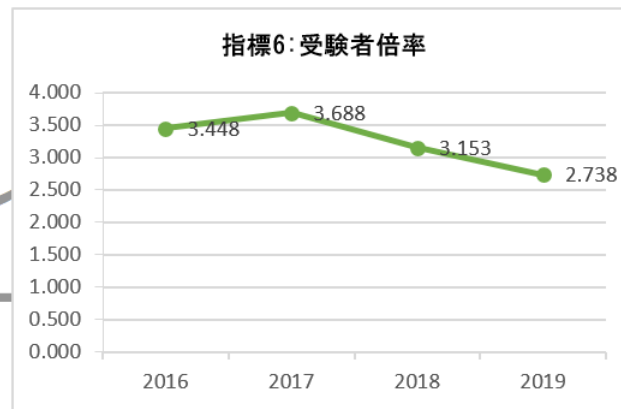
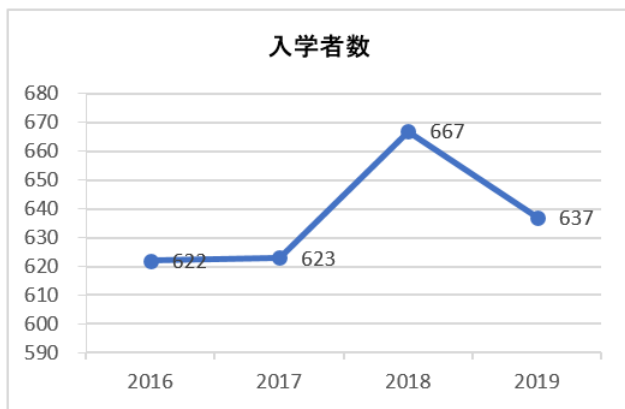
データ分析集（経年変化）

データ分析集（経年変化）は、各法人における経年変化を46指標により作成。調査項目により、全学（法人別）でデータを作成しているもの、同じ法人内の課程別や学部・研究科等单位でデータを作成しているものがある。

1. 学生入学・在籍状況－入学（2016年度～2019年度）

大学名・学部名 小平大学

課程区分 学士



経年変化を示している

年度	入学定員	募集人数	受験者数	入学者数	指標6	指標7
					受験者倍率	入学定員充足率
	①	②	③	④	③÷②	④÷①
2016	600	600	2,089	622	3.448	103.7%
2017	600	600	2,213	623	3.688	103.8%
2018	600	600	1,892	667	3.153	111.2%
2019	600	600	1,643	637	2.738	106.2%

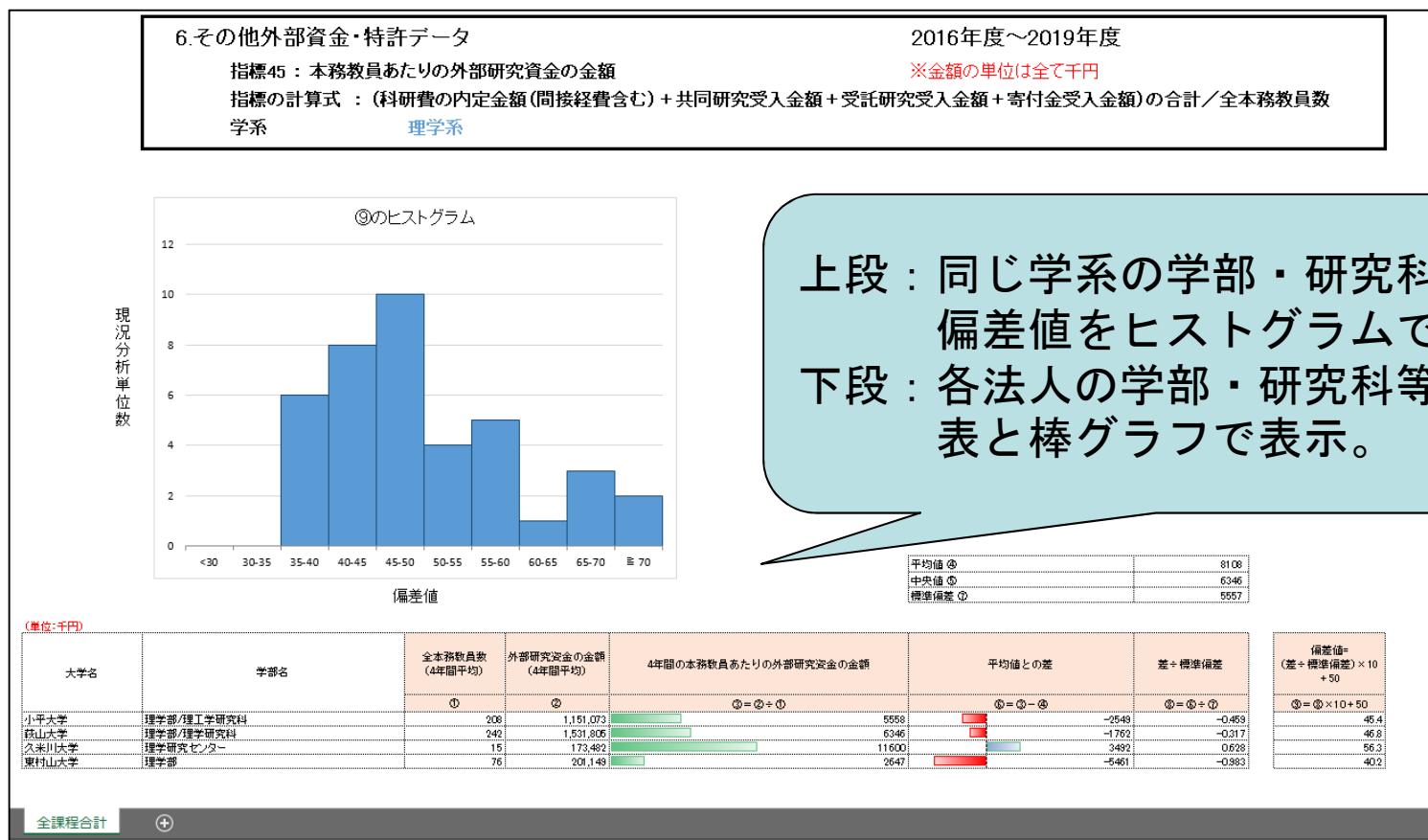
学士 修士あるいは博士課程（前期） 博士課程（後期） その他

課程別にシートが分かれている。



データ分析集（学系別）

データ分析集（学系別）では、46指標を11の学系別に各法人の学部・研究科等の状況を示すデータを作成している。





データ分析集による評価への活用状況

第1期 (確定評価)	第2期※1	第3期 (4年目終了時)
<ul style="list-style-type: none">・ 基礎的なデータとして活用	<ul style="list-style-type: none">・ 根拠資料の一つとして活用	<ul style="list-style-type: none">・ 根拠資料の一つとして活用・ 現況分析では、重要度に応じて3種類の指標に区分し、ピアレビューに活用-重要指標 (◆) ※2-分析指標 (◇) ※3-参考指標 (▪) ※4

※1 第2期では、4年目終了時の段階での評価を実施していない。

※2 現況分析の評価者が必ず活用する重要な指標

※3 現況分析の評価者が必ず活用する指標

※4 現況分析の評価者が必要に応じて参考とする指標 (基礎資料の一つ)